



受け継ぐ大砂土東小学校の伝統

校長 武田 泰之

2月14日(金)に数年振りに全校児童が体育館に集まって6年生を送る会が行われました。1年生から5年生までの子どもたちが、卒業する6年生に向けて、合唱や合奏等を披露し卒業へのお祝いや感謝の気持ちを伝えることができました。

1年生は、リズムに乗りながら振り付けを交えた合唱「だれにだってお誕生日」を大きな声で歌いました。6年生一人ひとりの誕生月をお祝いする掛け声で、体育館が一体感のある和やかな雰囲気になりました。2年生は、軽やかなサンバのリズムで「帰りの会のサンバ」を歌いました。6年生の活躍を金メダルを贈呈する表彰式のようなパフォーマンスによって表現することで、体育館が元気で明るい掛け声に包まれました。3年生は、心を一つにリコーダー「やったー!100点」を演奏したり、「ありがとう6年生」を合唱したりしました。6年生との思い出や感謝の気持ちをしっかり伝えることができました。4年生は、「世界が一つになるまで」を美しい歌声で表現しました。一人ひとりが、曲のイメージをしっかりとって美しいハーモニーで気持ちを込めて丁寧に歌うことができました。5年生は、6年生にとっての思い出の曲を合奏したり、「栄光の架け橋」の2部合唱を披露したりしました。次の最高学年としてふさわしい見事な演奏、美しい歌声は6年生への感謝の気持ちとともに学校のリーダーとしての自覚を感じました。そして、6年生は、下級生にお礼の意味などを込めて演奏を行いました。壮大な映画の世界を彷彿とさせる「STAR WARS」



【見事な演奏を披露する6年生の様子】

では、リコーダー、鍵盤ハーモニカ、打楽器などの音色が迫力ある物語の場面を思い起こさせてくれました。さすが最高学年としてふさわしい合奏となりました。また、2部合唱である「地球星歌」では、体育館いっぱいに広がる伸びやかな歌声がすばらしく、聴くものを惹きつける感動的な発表となりました。さらに、代表委員の6年生から5年生へ、大砂土東小学校をさらにすばらしい学校へ発展させて欲しいという心のもったメッセージを送り、5年生が新たな大砂土東小学校のリーダーとなる引継ぎも行われました。

6年生を送る会において、卒業する6年生の子どもたちからのメッセージや見事な演奏などから、6年生が下級生のお手本であることを改めて実感しました。そして、この6年生を送る会こそが、子どもたちにとって、大砂土東小学校の伝統を引き継ぐ瞬間でもあるのだと改めて感じました。

歴史と伝統を誇る大砂土東小学校は、一人ひとりの子どもたちにとって世界に一つだけの学び舎です。そして、一人ひとりの子どもたちが希望あふれる未来に向かって旅立つ大切な場所でもあります。子どもたちにとってかけがえのない大砂土東小学校の伝統を大切に守ってくれた6年生、その6年生の姿を下級生が受け継ぎ、子どもたちの力で次の年もさらにすばらしい大砂土東小学校となるよう、よい伝統をつないでいってほしいと願っています。そして、中学校へと旅立つ6年生を含め、新年度の大砂土東小学校の子どもたち一人ひとりのさらなる飛躍を楽しみにしています。

令和6年度の学校だより巻頭言の最終発行にあたり、卒業する6年生と各学年の課程を修了する1年生から5年生の子どもたちの新しい学年での活躍を心より祈念いたしますとともに、令和6年度における保護者並びに地域の皆様の本校の教育活動へのご理解とご支援に深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。